

# 新年のごあいさつ



野々市市長  
栗 貴章

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。  
平素より市政の推進に対しまして格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

## 安全安心なまちづくりの推進

本市では、能登半島地震や奥能登豪雨災害の発災を受けて、今年度「安全安心なまちづくりの推進」を重点施策の一つに掲げ、計画的な公共施設の改修と避難所の機能強化を進めてきました。公共施設の改修については、公共施設個別施設計画に基づき、教育センターや保育園の改修を行っているほか、野々市市社会福祉協議会の移設と高齢者・子育て世帯が交流できる複合的な施設（つばきの杜のいち）を目指して、一昨年、能登半島地震の2次避難所として受け入れを行った老人福祉センター椿荘と中央児童館、そして隣接する旧いきがいセンター矢作の一体的な改修を進めています。



つばきの杜のいち 外観イメージ

◀石川ウィンズフィルハーモニックによる  
がんばろう能登 復興応援スペシャル  
チャリティコンサート



昨年初めて開催された  
野々市市民音楽祭2025▶

避難所の機能強化としては、熱中症対策など教育環境とスポーツ環境の改善の観点からも、学校体育館の空調設備の整備に取りかかっており、来年度以降も順次進めていくこととしています。  
昨年を振り返りますと、8月の記録的な豪雨や全国的な猛暑、そして相次ぐクマの出没など、地球温暖化の影響がさまざまなところで見られました。改めて、これまでの常識や想定を超える事態が起こり得るということを感じさせられた一年であったと思います。「備えよ常に」これはポリスカウトの標語ですが、近年の日本では、まさにこの言葉と心構えが大切であると感じています。自助・共助・公助、それぞれの役割でできる「備え」を意識し、災害に強いまちづくりをこれからも進めてまいります。

## 市民が輝き続けられる市を目指して

令和4年度からスタートした野々市市第二次総合計画も今年度は折り返しとなる5年目を迎えます。目指すべき10年後の将来都市像である「かがやき無限大 みんなでつくるインパクトシティのいち」は、コンパクトなまちの中に詰まったさまざまな魅力を市民の皆様と共に磨き上げ、より一層の輝きを放つことです。無限の可能性を秘めた本市の魅力と共に発信し、市の価値を高めることにより、住んでみたい、住み続けたい、そして市民の皆様が輝き続けられる野々市市をこれからも目指してまいります。

結びに、この新しい年が皆様方にとりまして、輝かしい年となりますよう心からお祈り申し上げますとともに、今後とも本市に対する一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 2025年の市の主な出来事

- 1月 金沢エナジー株式会社との包括連携協定締結
- 2月 いいじ野々市！ がんこうまい市が八重洲いしかわテラス（東京都）で開催
- 3月 東京国際ツバキ大会 北陸方面プレコンgresツアーの訪問
- 4月 文化会館フォルテ リニューアルオープン  
株式会社バローホールディングスとの包括連携協定締結
- 5月 がんばろう能登 復興応援スペシャルチャリティコンサート開催
- 6月 のいち子育てステーション開設  
姉妹都市ギズボーン市（ニュージーランド）副市長訪問団来市

- 7月 「梅<sup>しょうじょう</sup>猩々」を発売  
学びの杜ののいち カレードにCafe DOTがオープン
- 8月 シルバーリハビリ体操指導士養成講習会キックオフ
- 9月 市総合防災訓練実施
- 10月 市教育委員会教育長に大久保氏、委員に安嶋氏が再任
- 11月 野々市市民音楽祭2025初開催  
第30回BIG APPLE in NONOICHI開催
- 12月 えふえむ・エヌ・ワン 開局30周年